

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2018年 5月 25日

## 申 22 号「2018 年度新幹線総合車両センター業務改善に関する」団交②

(5 項) 周期延伸のテストカー検証については、N700系の台車枠亀裂の事象も踏まえ、慎重に実施すること。また、運輸安全委員会の調査報告や、経年台車を活用した解体調査の結果を踏まえ、必要に応じて早急に対策を講じること。

(回答) 周期延伸テストカーについては、決められた検査項目を検証しているところである。また、N700系の台車枠亀裂の事象に伴い、経年台車を活用して調査しているところであり、調査結果を踏まえて、関係個所と連携し、必要により対処していく考えである。

【主な議論】・テストカー検証は周期延伸ありきではなく、異常が見つければ中止も含めて時々で判断することを求め議論し、何らかの異常があれば、しっかりと対応することを議論しました。

(6 項) 基礎技術教育については、現場作業を学ぶフィールドが減少していることから、グループ会社の業務を体験できる仕組みを早急に実現すること。

(回答) 基礎技術教育については、現状等を踏まえて計画しているところである。

【主な議論】・基礎技術教育に関して、問題意識の認識の一致を図る議論を行い、グループ会社と調整を行うことに向けて議論しました。

(7 項) 部外委託件名の教育期間については、習熟状況や入場車種の偏り等を考慮し、必要に応じて教育計画の見直しやフォローを行うこと。特に、側引戸ギ装作業については、教育期間中に入場しない車種もあることから、フォローできる体制を整えること。また、部外委託件名に伴う人員配置の変更については、本人希望や適性を十分に考慮した上で、出向制度の活用も含め、適正に実施すること。

(回答) 必要な教育は実施して行く考えである。また、社員の運用については、本人の適性などを総合的に勘案して決定することとなる。

【主な議論】・教育期間の3ヵ月で、基本の技術をしっかり教えていくこと、場合により延びることもあり、教育期間内に入場しない車両については、フォローすることを議論しました。

(8 項) グループ会社の教育要員の人数や人材については、確実に技術を継承できる体制となるように、現場実態を適宜確認し、必要に応じて委託会社への指導を行うこと。また、部外委託教育と基礎技術教育のスケジュールが重複しないように配慮すること。

(回答) 委託会社の体制については、委託会社において検討することになる。また、必要な指導は当社においても実施して行く考えである。

【主な議論】・側引戸は、故障になると輸送に影響するため、教育期間や体制について、基礎技術教育とのラップは、注意して配慮をし、グループ会社のフォローも含めて行うことに向けて議論しました。

(9 項) 側引戸ギ装作業については、故障発生時の輸送影響が大きいこと、調整作業が発生することから、確実な教育を行うこと。また、全検試運転後の手直し等について、工程支障や出場遅れが発生しないように、早急に対応できる体制を整えること。

(回答) 必要な教育は実施して行く考えである。また、異常時の対応については、状況等を勘案して対処していくこととなる。

【主な議論】側引戸の気密漏れは発生頻度が高いため、対策・異常時体制等について議論しました。